

茨城県 地域医療支援センター

明日の茨城の医療を担う若手医師を大きくサポート

茨城県では、医師修学資金や県地域枠の卒業医師をはじめとする若手の医師の皆さんが県内の医療機関で充実した勤務を過ごしながら自分の希望に応じたキャリアアップが図れるよう、若手医師の皆さんを大きくサポートする「茨城県地域医療支援センター」を平成24年4月に設置しました。

地域医療支援センターでは、本県の医療に精通したベテラン医師であるキャリアコーディネーターとの面談によるオーダーメイドのキャリアパスの作成や各種相談などのキャリア形成支援をはじめ、地域医療のために必要な手技から最先端の高度医療まで、若手の内に学ぶべき知識や経験を取得できるよう医師である教育インストラクターが主体となった各種研修会を開催するなど、県内の医療機関、県医師会、筑波大学をはじめとした医科大学が一体となって、若手の医師の皆さんを支援していきます。

是非、本県の地域医療で医師としてのスタートを切ってみてはいかがでしょうか。茨城県は、皆様をお待ちしています。

茨城県地域医療支援センターが育成する医師像

プライマリケアに広い知識・経験を有し、全ての医療場面において指導的立場から茨城の地域医療に貢献できる医師を育成する。

◇到達目標設定◇

1) 2年終了時

あらゆる疾患に対する初期対応（問診、診察、検査、処置、治療、上級医への相談）ができる。また、初期研修医への適切な指導ができる。

2) 4年終了時

全ての初診および救急患者に対する初期対応に加えて、患者のかかえる問題を解決するための検査、治療計画を自ら立案できる。

3) 6年終了時

救急を含む全てのコモンプロブレムに適切に対応し、チーム医療の中心的役割を果たすことができる。また、自らの専門領域においても適切な検査、処置、治療を行うことができ、なおかつ高度医療に貢献できる。

4) 9年終了時

優れた指導能力を有するとともに、今後の医師としてのキャリアの中で、茨城県の医療にどのような形で貢献できるのか、自らの将来計画を具体的に描くことができる。

センターの取り組み

(1) 地域枠医師等のキャリア形成支援

キャリアコーディネーターとの個別面談を通じ、オーダーメイドのキャリアパスの作成・提示、専門医・認定医の取得支援等

(2) 医師不足地域の病院等への医師派遣調整・あっせん

修学生医師、地域医療に従事する希望のある医師の派遣調整・あっせん等

(3) 地域医療に従事する医学生・医師の支援

地域医療の現場に触れる修学生セミナーの開催や、修学生の集いの開催

(4) 総合相談窓口の設置と情報発信

県内医療事情の紹介や相談など総合相談窓口の設置

(5) 指導医の養成と研修体制の整備

指導医の養成、地域医療に従事するために必要な技術取得のための研修会等

(6) 地域医療関係者との意見調整

県内医療関係者が一体となって取り組むための意見調整



茨城県地域医療支援センター キャリア支援制度

地域医療支援センターでは、医学の道を志す高校生、医学の道へ進む医学生、地域医療に従事する若手医師を様々な支援制度で全面的にバックアップします

目指す姿

支援内容

高校生

- 県内高校生の医学への興味と本県の医療状況への理解を深め、医学部進学者の増加と県内への医師の定着を促進する

- 高校訪問（高校への医師派遣）
- 大学説明会／自治・地域枠大学・修学資金制度等の説明

医学生

- 医学生が夢や希望を持てるよう地域医療に対する意欲を醸成する



〈医学部進学に対する支援〉

- 医師修学資金・地域医療医師修学資金の貸与

詳しくは3ページ

〈一般医学生対象事業〉

- キャリア相談
- 研修会

〈修学資金を受けている医学生対象事業〉

- 個別面談（必須）
- サマーセミナー・スプリングセミナー（必修）
- 地域医療研修会
- 修学生の集い（必修）
- 新入生オリエンテーション（必須）

詳しくは4ページ

医師

- 若手医師が安心して本県の地域医療に従事できるようキャリア形成の支援やセミナー・研修事業等による支援を行う



〈一般若手医師対象事業〉

- キャリア形成に係る相談、支援、あっせん等
- 新初期研修医合同研修会
- 医師海外派遣事業（短期・中期・長期）
- シミュレーショントレーニング事業
- 実力派講師による診療技術指導（教育回診）
- 医療技術研修会
 - ・PTLS講習会
 - ・JMECC講習会
 - ・エコーハンズオントレーニング

〈修学資金を受けている若手医師対象事業〉

- 個別面談（必須）・キャリア形成支援
- 修学生の集い・症例発表会（必修）
- ※その他、一般若手医師対象事業への参加は可能

詳しくは5ページ

医学部進学に対する支援～修学資金制度～

医学の道に進む学生を修学資金制度で全面的にバックアップします

医師修学資金の貸与

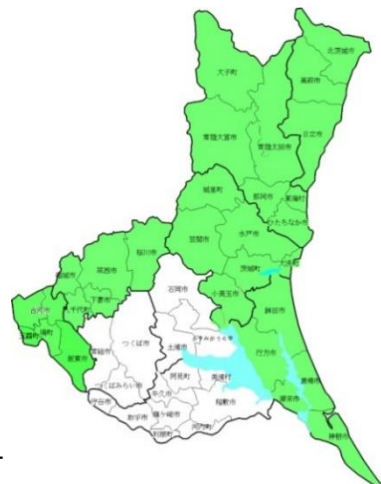
- 対象者：次の（１）又は（２）のいずれかに該当する者
 - （１）茨城県外の大学の医学部に在籍する者で、次のいずれかに該当する者
 - ①茨城県内の高等学校等を卒業した者
 - ②茨城県内に居住する者の子
 - （２）筑波大学医学群医学類に在学する者（県外出身も可）

（参考）医師不足地域

- その他の条件：地域医療支援センターが主催する各種セミナーや個別面談などに必ず参加できる者

- 貸与額：月額 15 万円 ■貸与人数：20 名（平成30年度）

県内医師不足地域で貸与期間と同期間、医師として勤務した場合は、返還を免除（※貸与期間が3年未満の場合は3年間）



「医師不足地域」として該当する二次保健医療圏（上図の色塗りの市町村）

- 水戸
- 日立
- 常陸太田・ひたちなか
- 鹿行
- 筑西・下妻
- 古河・坂東

地域医療医師修学資金の貸与（地域枠）

<茨城県内対象>

- 対象者：茨城県地域枠として入学した者で、次のいずれかに該当する者
 - （１）茨城県内の高等学校等を卒業した者
 - （２）茨城県内に居住する者の子

- その他の条件：地域医療支援センターが主催する各種セミナーや個別面談などに必ず参加できる者

- 貸与額：国公立大学：月額 20 万円，私立大学：月額 25 万円

- 地域枠定員：7 大学 43 名（平成30年度）※うち筑波大学 26 名

県内の医療機関で9年間（臨床研修期間を含む）医師として勤務した場合は、返還を免除（9年のうち1/2以上は医師不足地域に勤務，臨床研修終了後，知事の定める医療機関で勤務）

<全国対象>

- 対象者：筑波大学の出願資格を満たす者

- その他の条件：地域医療支援センターが主催する各種セミナーや個別面談などに必ず参加できる者

- 貸与額：月額 20 万円 ■地域枠定員：筑波大学 10 名（平成30年度）

県内の医療機関で9年間（臨床研修期間を含む）医師として勤務した場合は、返還を免除（9年のうち1/2以上は医師不足地域に勤務，臨床研修終了後，知事の定める医療機関及び診療科で勤務）

【知事が指定する診療科等】

・産婦人科 ・小児科 ・救急科 ・へき地医療（総合診療科又は外科）

海外対象医師修学研修資金の貸与

- 対象者：外国の医学校に在学する者（県外出身も可）

- その他の条件：地域医療支援センターが主催する個別面談などに必ず参加できる者

- 貸与額：修学資金：月額 15 万円，研修資金：150 万円

※研修資金は、県内医療機関で実習開始時に貸与

- 貸与人数：修学資金，研修資金ともに 10 名（平成30年度）

県内の医療機関で3～9年間（臨床研修期間を含む）医師として勤務した場合は、返還を免除（※修学資金の貸与期間及び研修資金貸与の有無による）

医学生に対する支援～セミナー・研修事業～

医学生が夢や希望を持てるよう地域医療に対する意欲を醸成します

修学生セミナー

サマーセミナー（H29実績）

<1～2年生>

開催日：平成29年8月18日（金）～8月19日（土）

場 所：日立医療圏

参加者：68名

内 容：病院見学、グループディスカッション、
地域で活躍する医師による講演等

<3～4年生>

開催日：平成29年8月16日（水）～8月17日（木）

場 所：常陸太田・ひたちなか医療圏

参加者：43名

内 容：病院見学、グループディスカッション、
地域で活躍する医師による講演等

<5年生>

開催日：平成29年8月9日（水）～8月10日（木）

場 所：大子町

参加者：15名

内 容：大子町内医療機関見学・現場体験、意見交換会等

<6年生>

開催日：平成29年8月20日（日）

場 所：常陸大宮済生会病院

参加者：8名

内 容：茨城県地域医療学術集会に参加

スプリングセミナー（H29実績）

<1～2年生>

開催日：平成30年3月15日（木）～16日（金）

場 所：古河・坂東医療圏

参加者：62名

内 容：病院見学、グループディスカッション、地域で活躍する医師による講演等

<3～5年生>

開催日：平成30年3月10日（土）～11日（日）

場 所：日立医療圏

参加者：48名

内 容：病院見学、グループディスカッション、地域で活躍する医師による講演等

～H29参加者の声～

- ・茨城県でも充実した設備で自分の希望するキャリアを築くことができると思った。
- ・卒業も近くなり、将来について少し不安を感じているので、同じ立場の仲間と話したり、説明を聞くことができてよかった。
- ・地域で働くことに対する自分の姿勢を見直すきっかけになった。



修学生の集い

開催日：平成29年12月29日（金）

場 所：ホテルレイクビュー水戸

参加者：233名（修学生、修学生医師、その他医療関係者等）

内 容：○修学生医師等による症例発表会

○学生企画

○交流会



～H29参加者の声～

- ・とても貴重で、示唆に富む症例報告が多く、勉強になった。
- ・1・2年生を中心とした内容で面白かった。
- ・普段会わない方や先生と会えて、話ができてよかった。

修学生個別面談

卒業後のキャリア形成などについて、
キャリアコーディネーターによる個別面談を実施

新入生向け事業

<新入生オリエンテーション>

開催日程：平成30年3月27日（火）



若手医師に対する支援～キャリア形成支援～

地域医療に従事しながらも、専門医や認定医の資格が取得できるよう、生涯にわたるキャリア形成を支援します




キャリア形成支援の特徴

① 専任医師による個別面談の実施

② オーダーメイドのキャリアパスの作成

③ 専門医・認定医の取得支援

キャリアパスのイメージ

※  は県内医師不足地域
 ※  は県内医師不足地域外
 ※  は義務年限

① 医師修学資金貸与制度：義務年限6年のケース

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目
【ケース1】	初期研修 中核病院 (臨床研修病院)		専門医研修 中核病院			中小病院等 週1回中核病院等で勤務	地域医療 県内(中核拠点)病院 国内外研修 大学病院				
【ケース2】 ※「認定専門研修」を活用 (県内医師不足地域外)	初期研修 中核病院 (臨床研修病院)		専門医研修 中核病院 県内医師不足地域外(義務算入)	中核病院		中小病院等 週1回中核病院等で勤務	地域医療 県内(中核拠点)病院 国内外研修 大学病院				

※認定専門研修…医師不足地域内では受けることが困難な研修として知事が認める場合、1年を限度として県内の医師不足地域外で行うことができます(ただし義務の最終年度を除きます)。また、県内では研修ができない特殊な技能習得等に関し、県外での研修を認めます。この場合に、県内での研修は従事期間に算入し、県外での研修は従事期間に算入しません(猶予扱い)。

※初期研修を医師不足地域外の県内の医療機関及び県外の医科大学の附属病院で行った場合は、その期間、返還は猶予されます。

② 地域医療医師修学資金貸与制度：義務年限9年のケース

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目
【ケース3】	初期研修 中核病院 (臨床研修病院)		専門医研修 中核病院		中小病院等 週1回中核病院等で勤務	中核病院		中小病院等 週1回中核病院等で勤務		地域医療 県内(中核拠点)病院 国内外研修 大学病院	
【ケース4】	初期研修 中核病院 (臨床研修病院)		専門医研修 中核病院		中小病院等 週1回中核病院等で勤務	中核病院		中小病院等 週1回中核病院等で勤務		地域医療 県内(中核拠点)病院 国内外研修 大学病院	

※県内では研修ができない特殊な技能習得等に関し、1年を限度として県外での研修を認めます。この場合、県外での研修は従事期間に算入しません(猶予扱い)。

義務期間内の出産・育児について

産前産後8週の特別休暇は義務期間に算入します。
また、育児休業は猶予期間(義務期間に不算入)となります。



義務期間内の医学部大学院への在学について

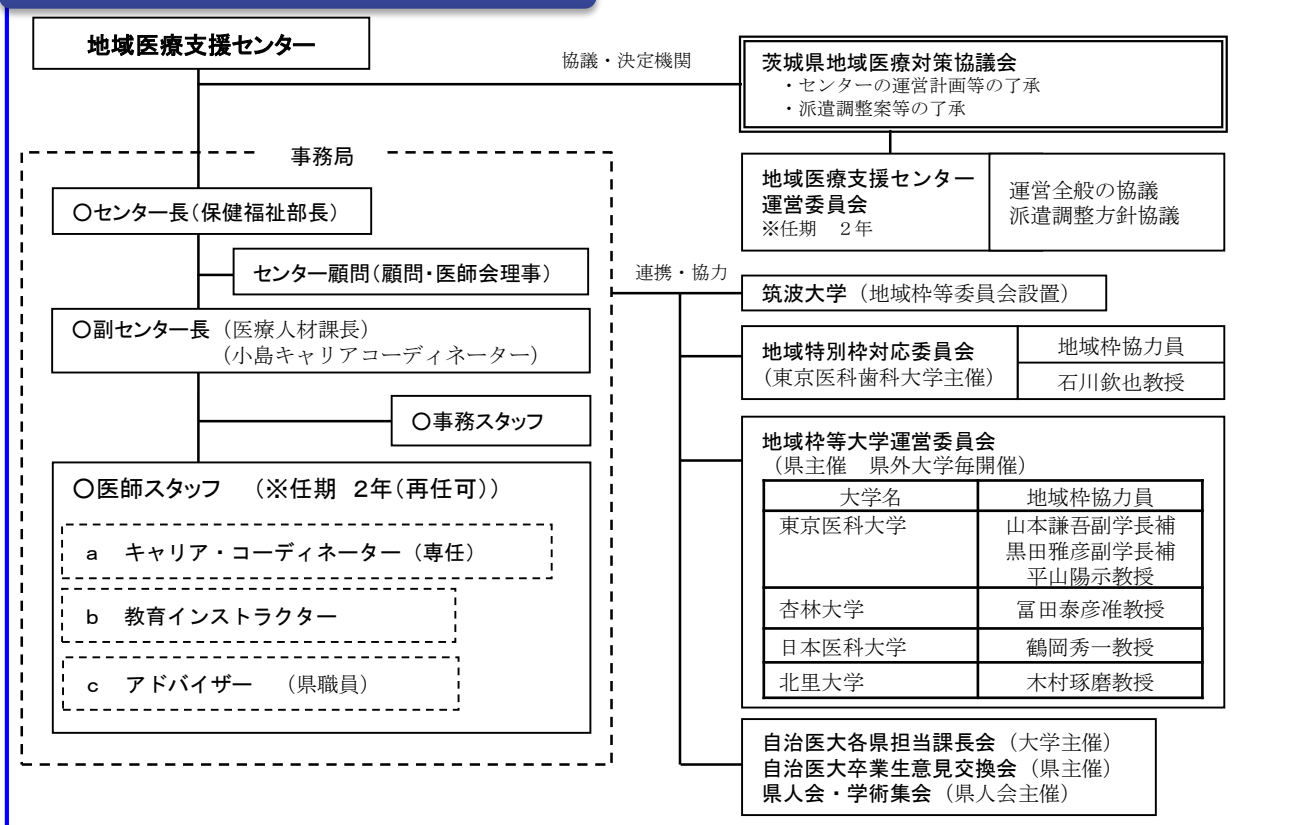
医学部大学院に在学しているときは猶予期間となります。



地域医療支援センター～組織・スタッフ体制～

県内の医療機関を代表する医師が、全力で若手医師をサポートします

地域医療支援センター組織図




地域医療支援センタースタッフ体制

(1) センタースタッフ

センター長	木庭 愛(茨城県保健福祉部長)
センター顧問	山口 巖(茨城県医療改革担当顧問)
	永井 秀雄(茨城県地域医療担当顧問)
	伊藤 睦子
キャリアコーディネーター	小島 寛(筑波大学医学医療系教授, 茨城県立中央病院 副院長)
	山内 孝義(株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 副院長)
	柳生 久永(東京医科大学茨城医療センター 卒後臨床研修センター長)
教育インストラクター	瀬尾 恵美子(筑波大学附属病院 総合臨床教育センター部長)
	大越 靖(茨城県立中央病院 輸血細胞治療部長)
	米野 琢哉(水戸医療センター 副院長)
	木下 賢輔(水戸協同病院 総合診療内科講師)
	生澤 義輔(水戸済生会総合病院 副院長)
	堀米 仁志(茨城県立こども病院 副院長兼医療教育局長)
	清水 圭(株式会社日立製作所日立総合病院 呼吸器内科主任医長)
	湯原 孝典(土浦協同病院なめがた地域医療センター 副院長兼内科部長)
	渡辺 章充(土浦協同病院 小児科部長)
	中村 蓉子(土浦協同病院 小児科医師)
	小川 良子(筑波大学附属病院 総合臨床教育センター副部長)
アドバイザー	野崎 礼史(茨城西南医療センター病院 外科科長)
	清嶋 護之(茨城県立中央病院 呼吸器外科部長)
	天貝 賢二(茨城県立中央病院 消化器内科部長)
	石田 久美子(潮来保健所長)
	井澤 智子(ひたちなか保健所長)
	永田 博之(常陸大宮済生会病院 消化器内科医師)
地域枠大学協力員	石川 欽也(東京医科歯科大学 教授)
	山本 謙吾(東京医科大学 副学長補)
	黒田 雅彦(東京医科大学 副学長補)
	平山 陽示(東京医科大学 教授)
	富田 泰彦(杏林大学 准教授)
	鶴岡 秀一(日本医科大学 大学院教授)
	木村 琢磨(北里大学 特任教授)

(2) 茨城県地域医療支援センター運営委員会(委員長 茨城県保健福祉部長 木庭 愛)





問い合わせ先

茨城県地域医療支援センター

(茨城県保健福祉部医療局 医療人材課 医師確保G内)

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6

TEL:029-301-3191 FAX:029-301-3194

E-mail:i.doctor@pref.ibaraki.lg.jp

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/jinzai/ishikakuho/isei/ishikakuho/top/index.html>

茨城 地域医療 センター

検索

医学生や医師のみなさんに
茨城県内での研修・勤務に役立つ情報を提供する
メール会員を募集中です。
(地域医療支援センターホームページから登録できます)